**令和6年度 公益財団法人日下部民芸館事業計画（案）**

(令和6年4月1日〜令和7年3月31日)

**一．公益事業**

〔事業名〕

1．国の重要文化財日下部家住宅（日下部民藝館）の保存、活用に関する事業

2．日下部家に伝わる古美術、古文書、民藝の資料の保管、展示公開に関する事業

〔事業内容〕

１．重要文化財日下部家住宅（日下部民藝館）の保存、活用に関する事業

（１）重要文化財日下部家住宅（日下部民藝館）の保存に関する事業

①防災設備点検

文化財保護法に基づき、国の補助による事業として 防災設備点検を実施。

②保存活用計画の作成完成と補助事業の着手

文化庁、高山市と連携し、重要文化財日下部家住宅の保存活用計画を策定する。

保存計画、防災計画、活用計画を作成し、将来見込まれる文化財の修理、修復、防災管理、活用に伴う施設の整備等に対して文化庁、高山市、所有者（財団）で共通認識をもって文化財の保護にあたる。令和5年3月現在、文化庁の最終の確認待ちの状況だが、認定が下り次第補助事業の着手に進む予定。

トイレの改修を本年１１月ごろ行う予定

改修見積26,950,000円（令和5年9月15日見積）　文化庁と岐阜県、高山市の補助金で75％～85％の補助を見込む。

自己負担見込み　4,043千円～6,738千円

（２）重要文化財日下部家住宅（日下部民藝館）の活用に関する事業

①重要文化財日下部家住宅（日下部民藝館）の一般公開

年間開館日数305日 (毎週火曜定休、年始臨時休館)

入館料一般大人1000円、高大生500円、小中学生300円(団体割引他各種割引あり) 年間入館者見込み30,000人（前年比151％）

②特別公演「日下部文楽　人間国宝認定記念　吉田玉男の世界」

令和6年7月13日（土） 昼の部13時～8,000円（茶菓子付き）

　　　　　　　　　　　　　　 夜の部7時～15,000円（食事付き）

各回100名動員見込み

③「落合陽一特別展（仮称）」の開催

開催日程:令和6年9月14日（土）～11月4日(月)　50日間

昨年度に引き続き、落合陽一展の第3弾を開催。落合陽一氏が飛騨の風土、歴史、神話、民藝を背景に創作、日下部民藝館でのインスタレーションを行う。

入館料　大人1500円　高大生1000円　小中学生500円

入館目標　5,000人

②と③は文化庁が主催する日本博2.0補助型「重要文化財日下部家住宅（日下部民藝館）の磨き上げによる満足度向上」事業として助成申請中。（事業規模15,000千円　補助申請額10,000千円）

また③は高山市の「継続的な文化芸術活動支援事業補助金」に申請予定（補助申請額1,000千円）

２．日下部家に伝わる古美術、古文書、民藝の資料の保管、展示公開に関する事業

（１）日下部民藝館の所蔵品のデータ化

日下部家が所蔵する古美術、古文書、歴史資料のデータ化を進め、もってこれらの資料が適切に保管され、広く一般に公開することに役立てる事業。　特に古文書については市内の郷土史研究家を中心としたボランティアチームによって目録の編纂が進行中。

（２）資料の公開

①「日下部家の雛祭り」展開催

令和6年3月1日(金)〜4月3日(水) 於:日下部家住宅本座敷日下部家に代々伝わる雛人形約200体を一堂に展示

②「日下部家の端午の節句」展開催

令和6年5月2日(木)〜6月5日(水) 於:日下部家住宅ミセ

日下部家に代々伝わる五月人形、鍾馗の幟等を展示

③民藝資料の展示

民藝館第二展示室における常設展示による民藝の普及活動

日下部家所蔵の民藝に関わる作品の展示を通して、来館者に民藝についての理解を深める。

**二．収益事業**

〔事業名〕

１．民藝に関する日用品の販売

２．当法人が所蔵する撮影物資料及び施設等を貸与する事業

〔事業内容〕

１．民藝に関する日用品の販売

各地で生産されている優れた手仕事による生活雑貨や生活工芸品を販売することにより、現代に息づく民藝を紹介するとともに、得られた収益を財団運営に活かす事業（ショップ）

２．当法人が所蔵する撮影物資料及び施設等を貸与する事業

文化財活用の一環として、日下部民藝館の空間をコンサートや各種イベント開催の場として貸出する。地域の人々と文化財との距離を縮め、歴史や文化に触れる機会を提供するとともに、得られた収入を財団運営に活かす事業

令和6年度　貸館予定

4/3　高山ライオンズ花見例会

4/28　山の耳ライブ

6/16　六角精児ライブ

9/1　 上の助空五郎　血縁キャバレーライブ

11/3　フィールシャミセニズム

11/　ナチュールワインの会

2/2　節分お化け　城谷歩怪談　　他

以上